



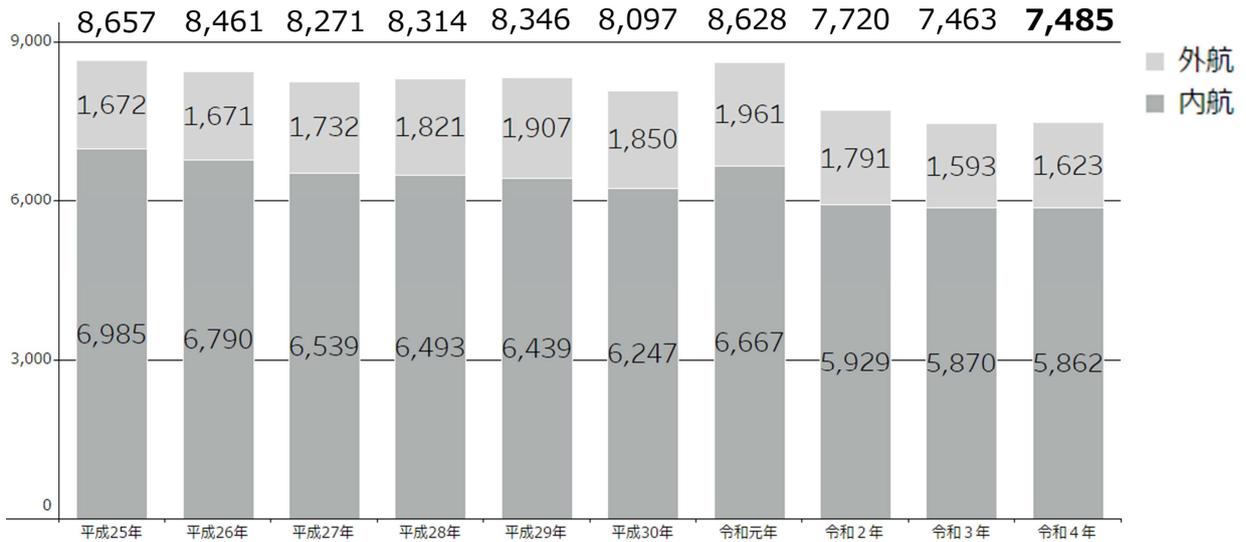
1 はじめに

「港湾統計」は、港湾の実態を把握し、港湾の開発、利用及び管理等の基礎資料を得ることを目的とした調査である。この統計を基に清水港管理局は、清水港の概況を取りまとめた。

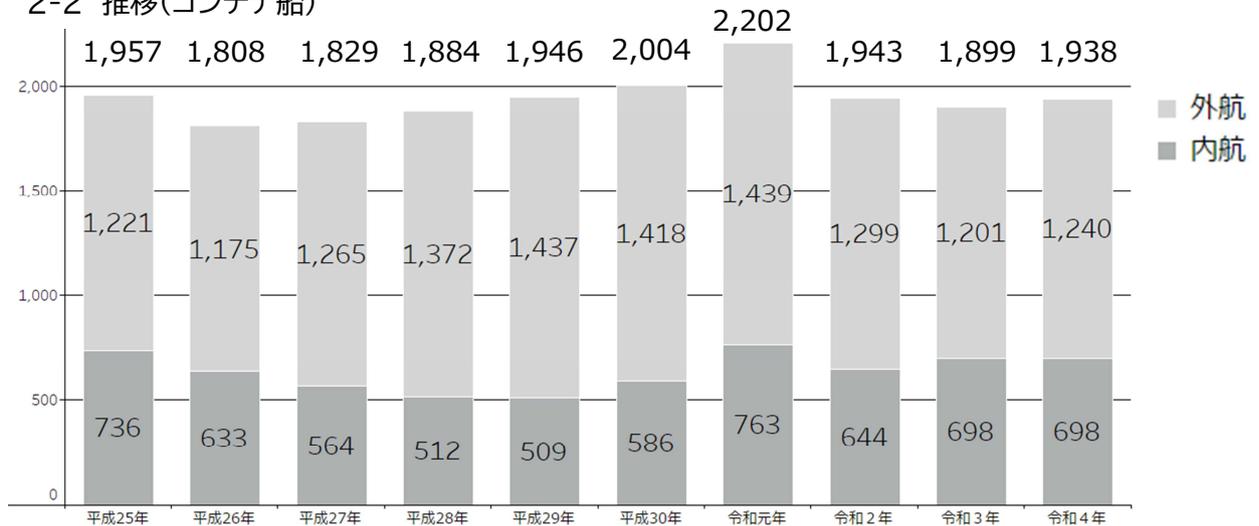
2 入港船舶数(令和4年速報値)

令和4年の入港船舶数は、外航船1,623隻、内航船5,862隻の合計7,485隻で、対前年比0.3%増加した。船種別では、コンテナ船は外航コンテナ船1,240隻、内航コンテナ船698隻の合計1,938隻で、対前年比2.1%の増加、客船は13隻で、対前年比44.4%増加した。なお、客船は、コロナの影響により令和2年から外航客船の受け入れを停止していたが、令和5年3月1日から、受け入れを再開した。

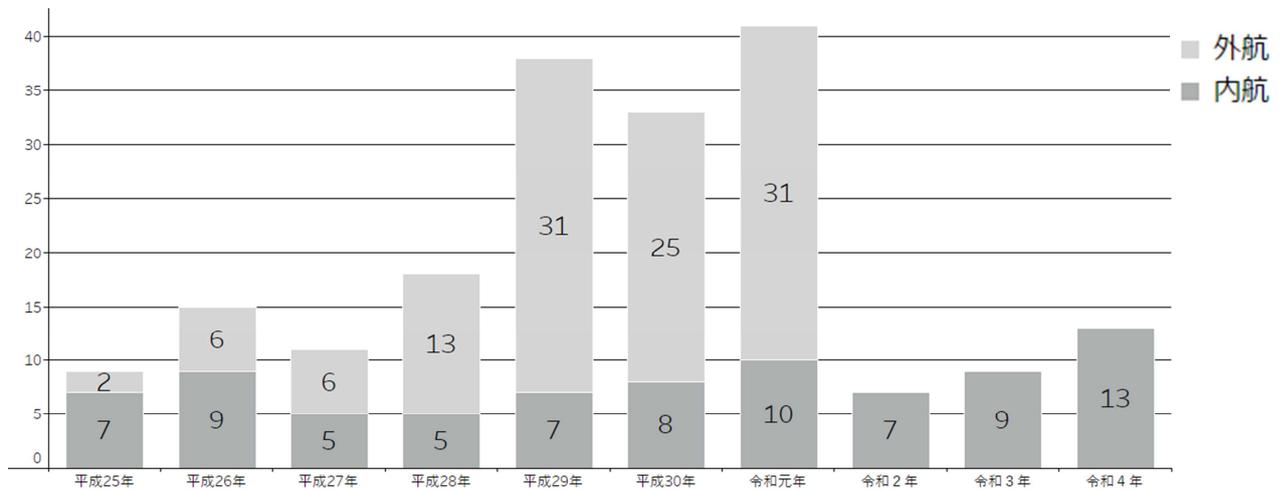
2-1 推移(全船種)



2-2 推移(コンテナ船)



2-3 推移(客船)

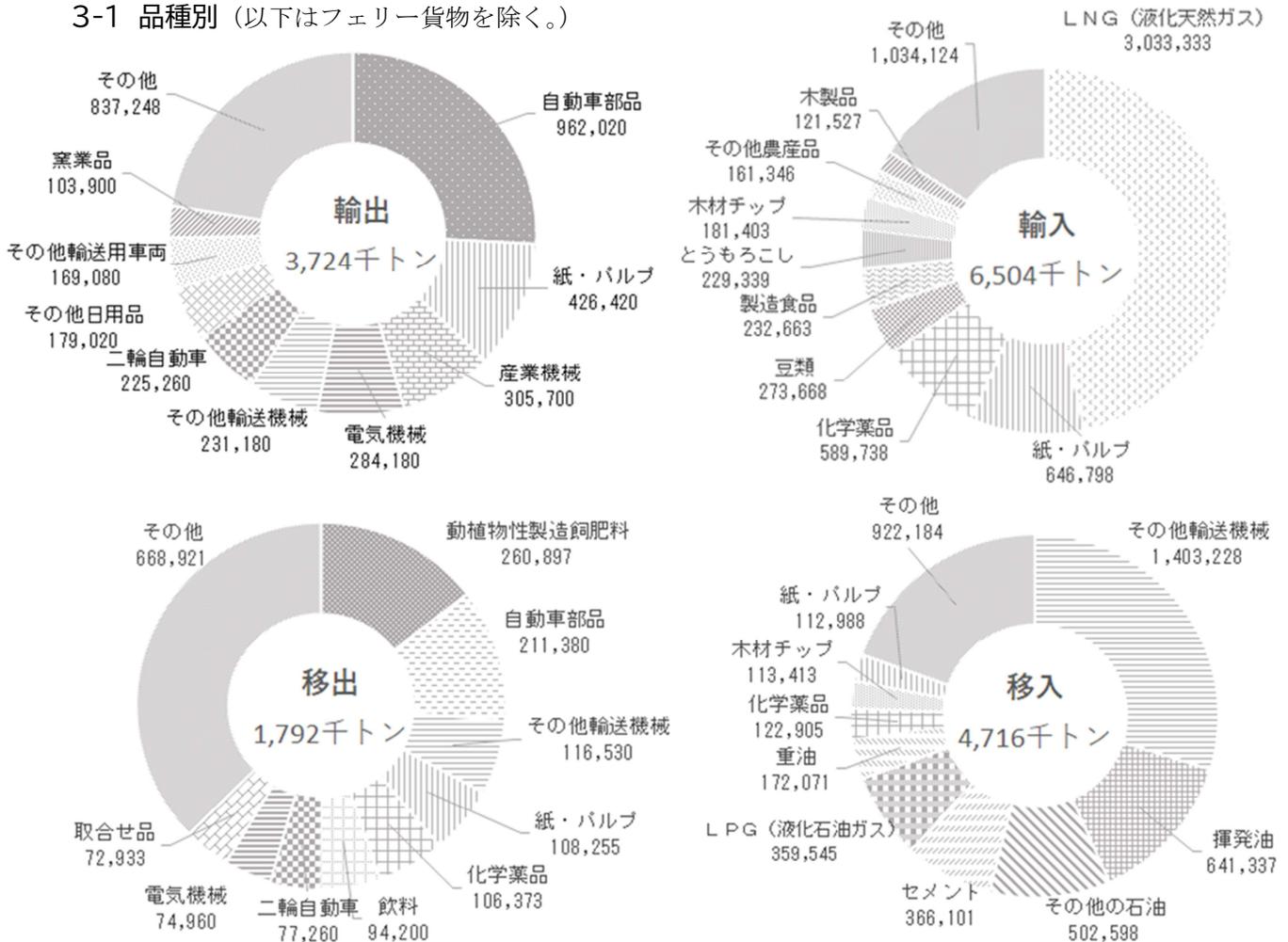


3 海上出入貨物量(令和4年速報値)

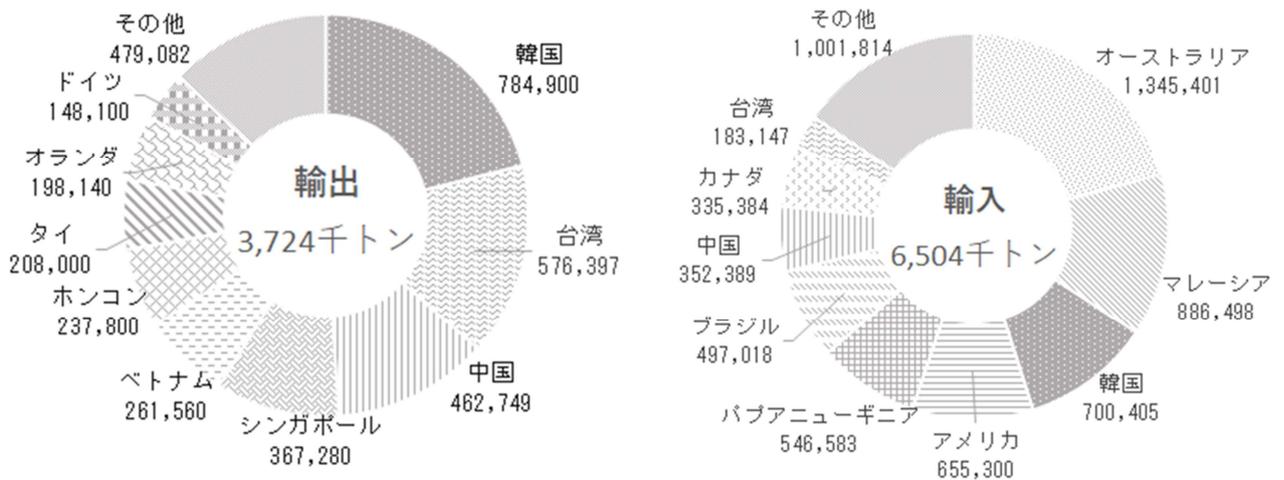
令和4年の海上出入貨物量は、17,014千トン(フェリー貨物含む)で、対前年比0.3%増加した。品種別では、輸出は自動車部品の取扱が多く、輸入はLNG(液化天然ガス)の取扱が多かった。国別では、輸出は韓国・台湾・中国といった東アジア地域の取扱が多く、輸入はオーストラリアやマレーシアの取扱が多かった。

区分	輸 出	輸 入	移 出	移 入
貨物量	3,724千トン (対前年比▲2.5%)	6,504千トン (対前年比▲0.6%)	1,927千トン (対前年比▲0.6%)	4,859千トン (対前年比+4.3%)

3-1 品種別 (以下はフェリー貨物を除く。)



3-2 国別



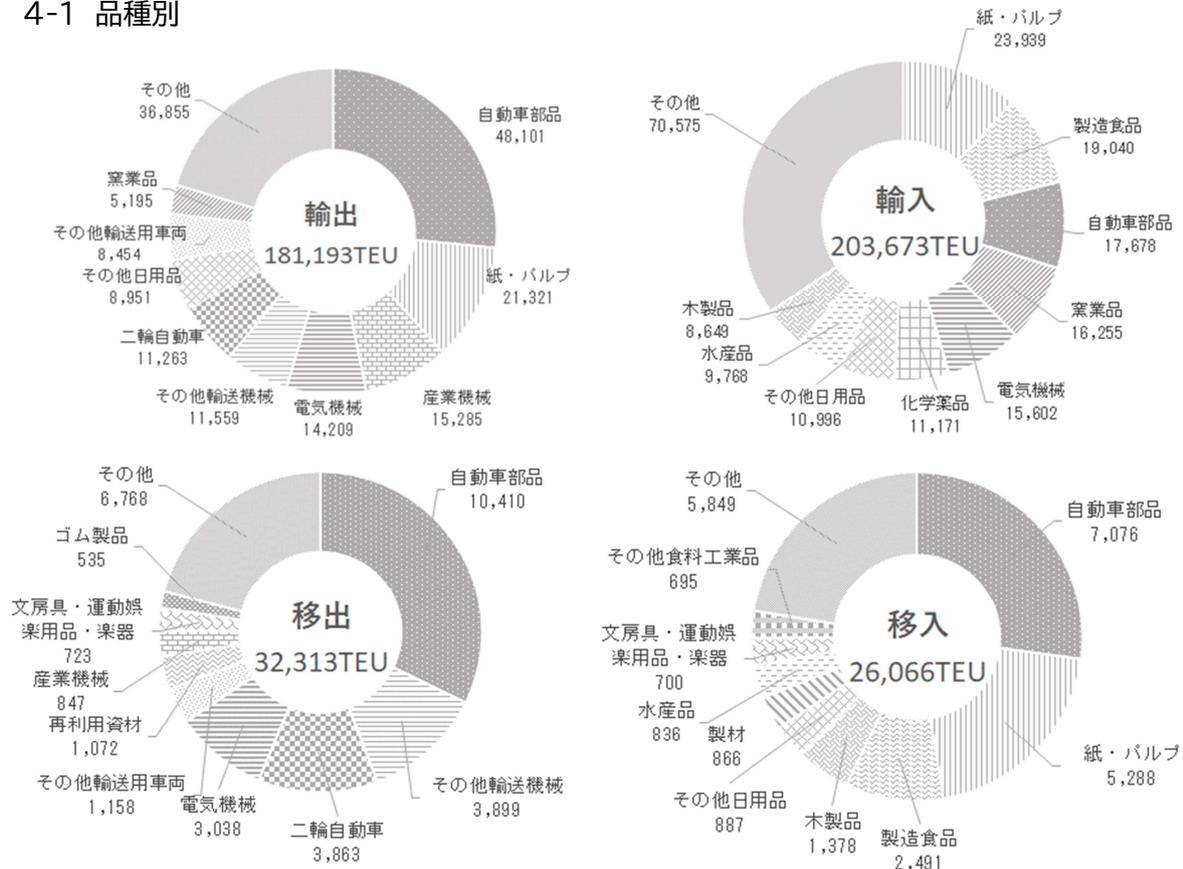
4 コンテナ取扱個数(令和4年速報値)

令和4年のコンテナ取扱個数(実入り・空の合計)は、551,048TEU*で、令和3年の562,610TEUと比べ2.1%減少した。品種別では、自動車部品の取扱個数が多く、国別では、韓国・中国・台湾といった東アジア地域の取扱個数が多かった。また、係留施設別では、新興津1号岸壁の取扱個数が最も多かった。

区分	輸 出	輸 入	移 出	移 入
貨物量	224,190 TEU (対前年比▲1.4%)	214,553 TEU (対前年比▲2.5%)	50,744 TEU (対前年比+0.4%)	61,561 TEU (対前年比▲4.9%)

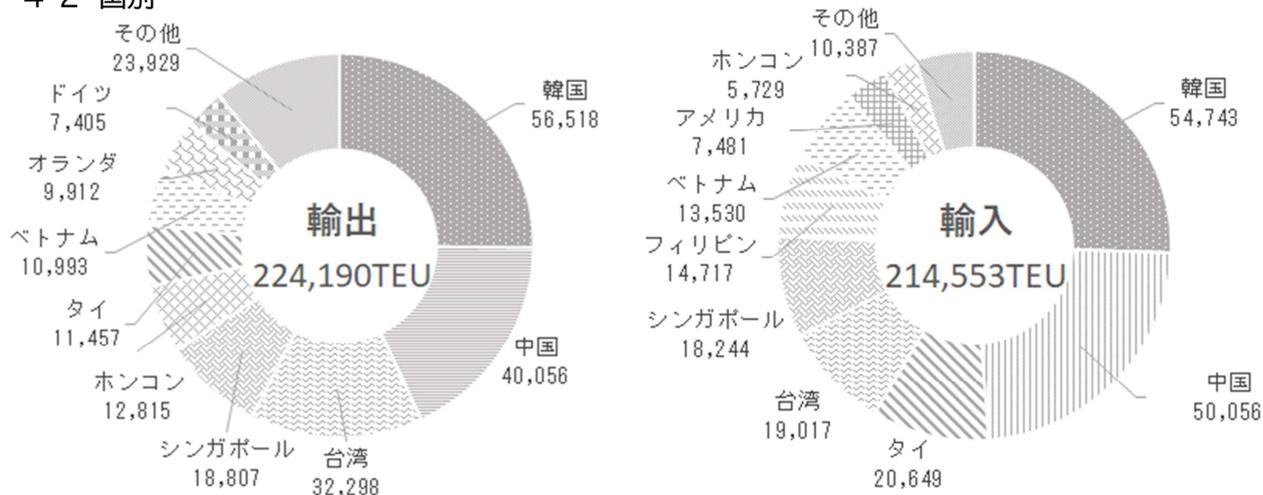
*TEUとは20ft. (コンテナの長さ)換算の取扱個数の単位。20ft.コンテナ1個を1TEU、40ft.コンテナ1個を2TEUとして計算している。

4-1 品種別

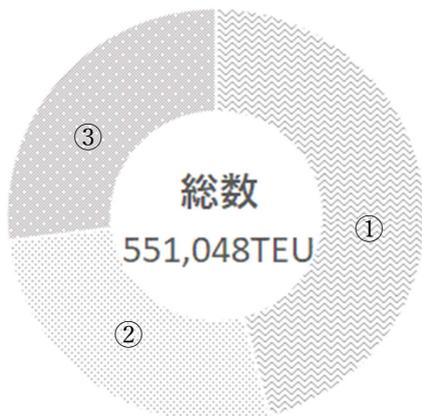


※空コンテナは除く。ROROの実入りコンテナはその他に含む。

4-2 国別



4-3 係留施設別



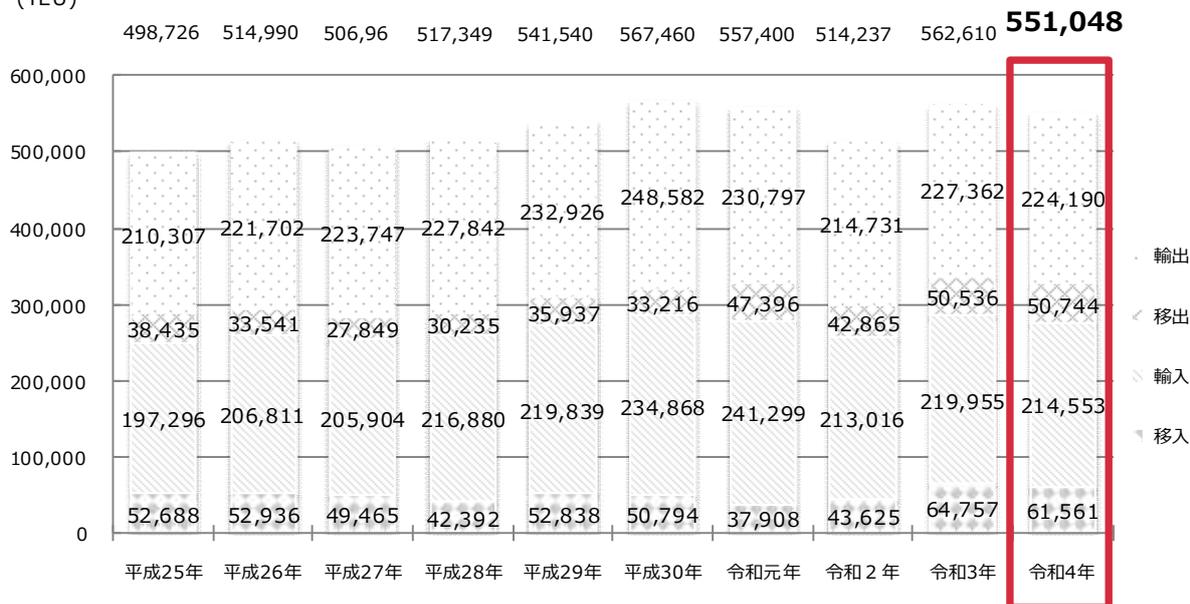
(TEU)

岸壁名	合計	輸出	輸入	移出	移入
①新興津1号岸壁	252,974	119,184	110,049	6,194	17,547
②新興津2号岸壁	149,574	62,637	64,360	8,660	13,917
③袖師6~8号岸壁	148,500	42,369	40,144	35,890	30,097
計	551,048	224,190	214,553	50,744	61,561

4-4 推移

直近10年でみたコンテナ取扱個数は、平成30年が1番多く567,460TEU、次いで令和3年の562,610TEUとなっており、令和4年は4番目となっている。また、移出については、令和4年が一番取扱個数が多かった。

(TEU)



4-5 港湾別コンテナ貨物取扱個数ランキング(令和3年速報)

(TEU)

順位	港湾名	所在地	コンテナ取扱貨物個数				
				外貿コンテナ		国内コンテナ	
				出	入		
1	東京	東京都	4,862,844	4,325,957	1,970,397	2,355,560	536,887
2	横浜	神奈川県	2,861,197	2,571,553	1,370,516	1,201,037	289,644
3	神戸	兵庫県	2,823,680	2,144,608	1,147,822	996,787	679,072
4	名古屋	愛知県	2,725,597	2,539,538	1,323,727	1,215,811	186,059
5	大阪	大阪府	2,425,638	2,128,090	961,631	1,166,459	297,548
6	博多	福岡県	957,051	814,998	398,554	416,444	142,053
7	那覇	沖縄県	592,926	80,168	39,088	41,080	512,758
8	清水	静岡県	562,610	447,317	227,362	219,955	115,293
9	北九州	福岡県	497,536	428,811	217,177	211,634	68,725
10	苫小牧	北海道	320,658	212,833	99,500	113,333	107,825
11	仙台塩釜	宮城県	265,244	163,006	81,287	81,719	102,238
12	広島	広島県	242,767	151,392	80,251	71,141	91,375
13	四日市	三重県	227,869	180,183	99,216	80,967	47,686
14	新潟	新潟県	224,601	167,669	81,433	86,236	56,932
15	水島	岡山県	165,346	124,940	62,031	62,909	40,406
16	鹿児島	鹿児島県	164,433	2,663	1,427	1,236	161,770
17	川崎	神奈川県	144,765	127,690	62,616	65,074	17,075
18	徳山下松	山口県	141,952	68,010	50,135	17,875	73,942
19	三島川之江	愛媛県	104,244	68,010	32,159	35,851	36,234
20	高松	香川県	104,206	36,714	17,047	19,667	67,492

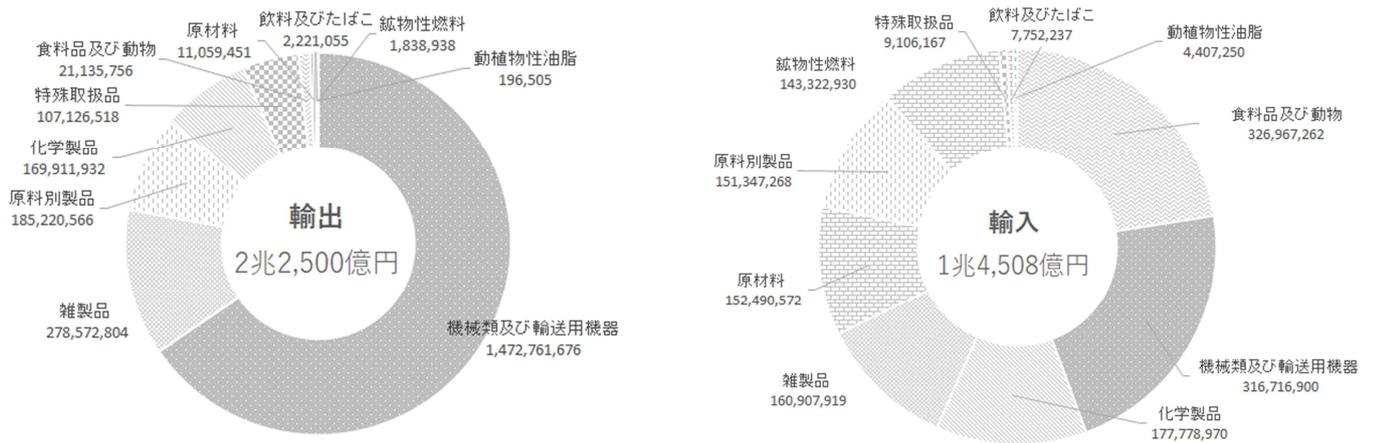
※上位 20 港のみ記載 出典：) 国土交通省「港湾調査」

5 貿易額(令和4年速報値)

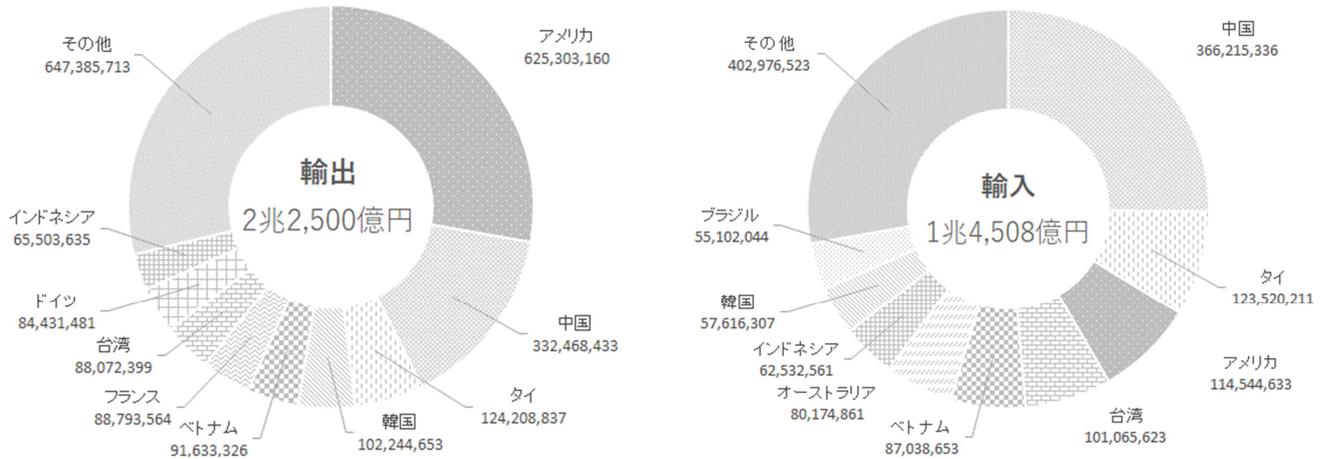
令和4年の貿易額は、輸出が2兆2,500億円、輸入が1兆4,508億円で輸出・輸入ともに直近10年でも最高額となった。

区分	輸出	輸入	輸出入額
貿易額	2兆2,500億円 (対前年比+10.8%)	1兆4,508億円 (対前年比+33.7%)	3兆7,008億円 (対前年比+18.8%)

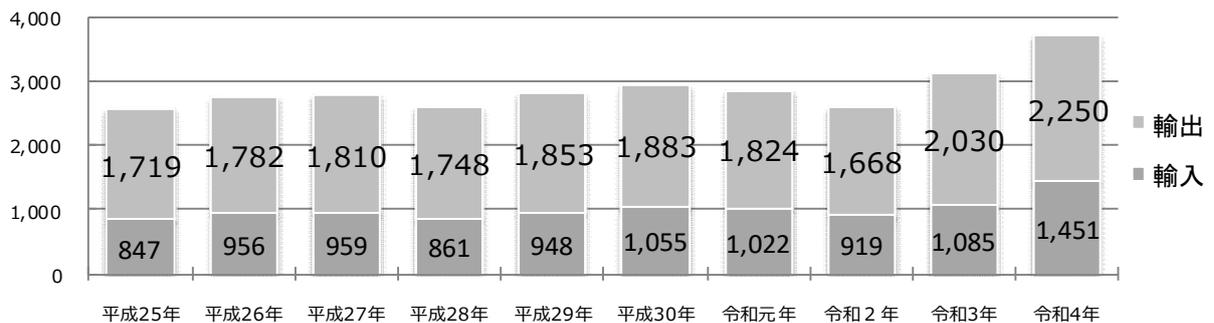
5-1 品種別



5-2 国別



5-3 推移



出典：) 財務省貿易統計